

## 農を学ぶ公園が開園しました

9日、「区立成田西ふれあい農業公園」(杉並区成田西3-18-9)が開園しました。この公園は、農に対する理解と知識を学ぶ場として、来園者が気軽に「見る・ふれる・楽しむ」機会を提供するものです。開園式当日は、午前中にトマトとアメリカンブルーの苗の配布、午後には開園に合わせて栽培されてきた菜の花とオカノリの摘み取り体験を行いました。

この公園は、4,500㎡ほどの広さがあり、25年12月末までは、農業体験農園として、農業者の指導を受けながら、年間を通して野菜づくりなどを行われ、地域に親しまれてきました。しかし、体験農園は、畑づくりの好きな人が参加するケースが多く、農に対し興味を持つこと、農の魅力や大切さを理解するには、より多くの人が気軽に訪れることができる場が必要と考えました。

杉並区内の農地は、昭和60年には約100haだったものが、平成28年4月1日現在、半分の約45haに、農家戸数は430戸が146戸になっています。これは、農業者の高齢化や後継者不足、相続税などの大きな税負担の影響によるもので、都市農地の減少が顕在化しています。都市農地は、今後、発生が危ぶまれている首都直下地震の際には、有効な避難場所となります。また、貴重なみどりとして、まちに潤いを与えるなど景観としての価値もあります。さらに、区内小中学校においては、地産地消による学校給食への野菜の提供や食育として楽しみながら土に触れる場としても多くの役割を果たしています。

こうした農を学ぶ場として、「区立成田西ふれあい農業公園」は整備されました。開園時間は、9時から17時までで、公園の運営は「すぎなみ農業ふれあい村」が受託事業者として関わります。農業公園に常駐するスタッフは、いずれも農業経験の豊富なメンバーです。

この日の開園式には、約700名の方が来園されました。午前中にはトマトとアメリカンブルーの苗400セットを無料配布し、午後には、開園日に間に合うように栽培されてきた菜の花とオカノリの摘み取り体験を約200名の方が楽しみました。こうした摘み取り体験や収穫体験など、今後も定期的実施し、より多くの区民の皆様にも農を学べる場を提供します。また、公園での農作業など情報については、季刊誌やホームページで随時発信していく予定です。



### 【問い合わせ先】

産業振興センター都市農業係 TEL: 5347-9136